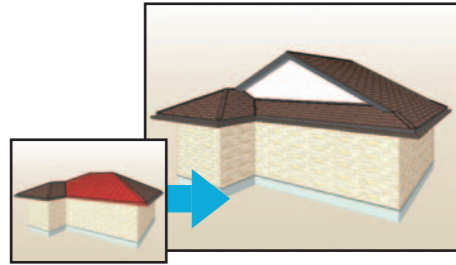


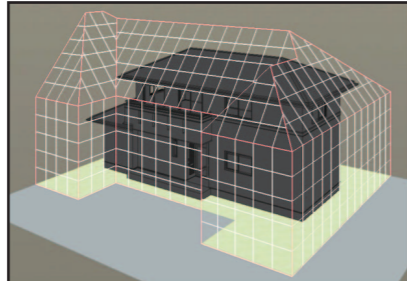
9 入母屋変形の適用範囲の拡大

X2以前では寄棟の三角屋根しか入母屋に変形できませんでしたが、今回のX2では三角屋根以外でも理論的に入母屋に変更可能な場合は、入母屋変形ボタンが使用できるようになりました。



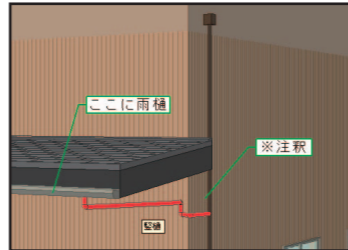
10 敷地凹形状の斜線チェック対応

従来、敷地が凹形状の場合の斜線チェックに対応していませんでしたが、X2ではこれに対応した他、斜線入力で敷地外入力のオプションを追加し、有限範囲で籠掛けモデルをカットできるようにしました。



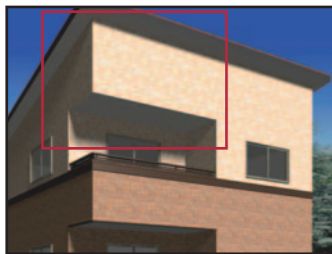
11 縦樋・バルコニードレイン入力範囲の拡張

従来、適用範囲が限られていた縦樋・バルコニードレインの入力範囲を拡張しました。



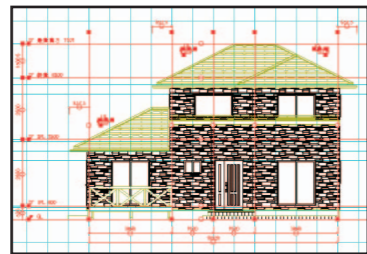
12 ロフト層オーバーハングの対応

ロフト層の外壁はロフト層で入力されたバルコニーに接する部分のみ出力する仕様としていましたが、X2ではオーバーハング壁の部分も出力する仕様に変更しました。



13 立面編集機能

下書 / 注記モードに切り替えることにより、立面に表記された要素を移動、変更できるようになりました。加えて下書き要素の入力が可能です。



※プロフェッショナルのみの機能になります

14 積算数量算出の拡張

X2より661-682の積算項目を追加しました。

- 661 バルコニー-入力芯面積
- 662 土間コン周長
- 663 土間コン立上り面積
- 664 全部屋合計 床面積
- 665 全部屋合計 壁面積
- 666 全部屋合計 天井面積
- 667 全部屋合計 幅木長さ

その他新機能

- ・壁生成禁止線分要素
- ・敷地辺名称の自動生成
- ・Webパックの保存先指定
- ・建具の入力点(吊元)表示機能
- ・面積測定モード
- ・部分壁自動生成
- ・部屋別の設備シンボル積算
- ・ハッチング機能
- ・角度指定の一点入力機能

Walk in home X2+ 推奨動作環境

- ・対応機種: PC / AT 互換機 (DOS / V 機)
- ・OS: windows Vista / XP / 2000
- ・CPU: pentium4 1Ghz 以上 (Core Duo 以上推奨)
- ・メモリ: 512MB 以上、ビデオメモリ 64MB 以上
- ・HD 空き容量: 1GB 以上推奨
- ・表示解像度: XGA(1024x768) 以上 24ビット フルカラー
- ・インターフェース: USB インターフェース※
- ※プロテクトチップ接続用インターフェースが1ポート必要

※Walk in home は株式会社 DTS の登録商標です。 ※Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ※Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。 ※その他記載されている商品名や用語は一般に各社の登録商標です。 ※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

【発売元】

共有する空間・時間・価値

安心計画株式会社

本社 福岡市博多区博多駅前3-22-8 朝日生命博多駅前ビル8F 〒812-0011
開発本部 TEL 092-475-1751 FAX 092-413-6378

東京支店 東京都港区新橋1-8-3 住友新橋ビル7F 〒105-0004
TEL 03-3569-2202 FAX 03-3569-2203

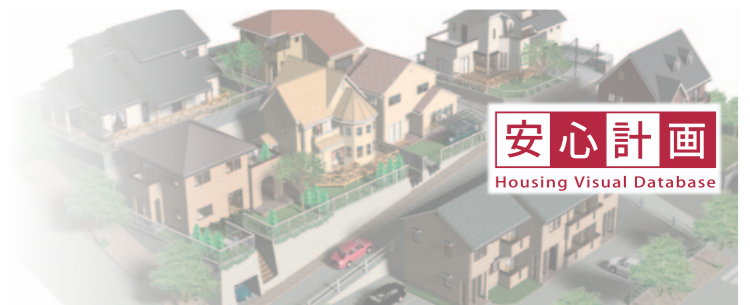
より詳しい内容及び最新情報は安心計画WEBをご覧ください。

<http://www.anshin-k.co.jp/>

検索サイトで安心計画と入力してください
安心計画 検索

Walk in home X2+ プラス

ウォークインホーム・エクス2・プラス



意匠、設計共に飛躍を遂げた X2

住宅のプレゼンテーションから設計までをこなす Walk in home + シリーズが、2008年春より Walk in home X2+ (ウォークインホーム・エクス2・プラス) として発売を開始します。

今回のバージョンアップではダイナミックなリアルタイムプレゼンテーションを実現します。部屋のスタイルを一発で変換できる「スタイルデザイナー機能」やパース上から建具のダイレクト入力、パースを入力しながら可能となった「ダイレクト

レタッチ機能」など、対面プレゼンに特化した Walk in home + ならではの機能が充実しました。

また、設計の分野でも、作図ツール的大幅な追加と入力補助ツールの充実により、業務をより円滑に進めることが可能となりました。

バージョンアップ新機能紹介

1 ダイレクトレタッチ機能

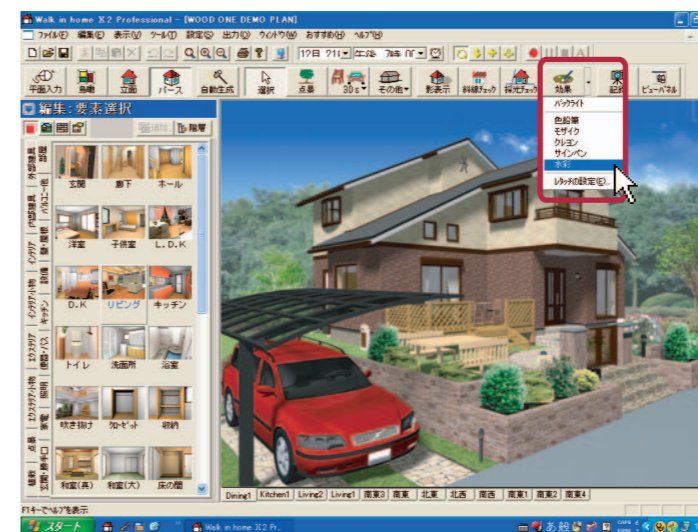
高画質 CG 画像を水彩画調や鉛筆タッチに変更するレタッチ機能が強化されました。

レタッチ機能は従来であればプレゼンボードに出力した後にレタッチ画面を開く必要がありましたが、今回より入力画面から直接、レタッチ機能を使用できるようになりました。

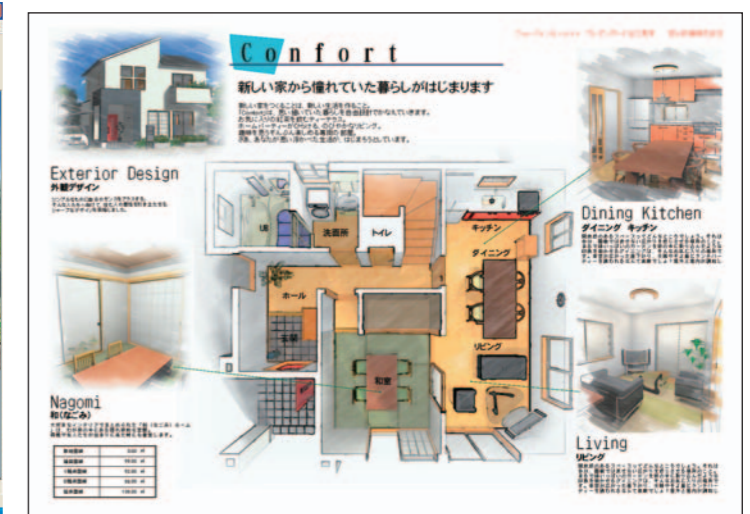
こんなときに!

物件を入力しながらのレタッチが可能となり、細かなアングルやフィルターの調整、レタッチ画像を使用したプレゼンボード作成がより効率的に進められるようになりました。

また、対面プレゼンでもレタッチが使用できるため表現力豊かなプレゼンテーションを実現します。



▲入力画面から直接レタッチ



▲レタッチ画像を使用したプレゼンボード

レタッチフィルターの一例



▲色鉛筆



▲モザイク



▲クレヨン



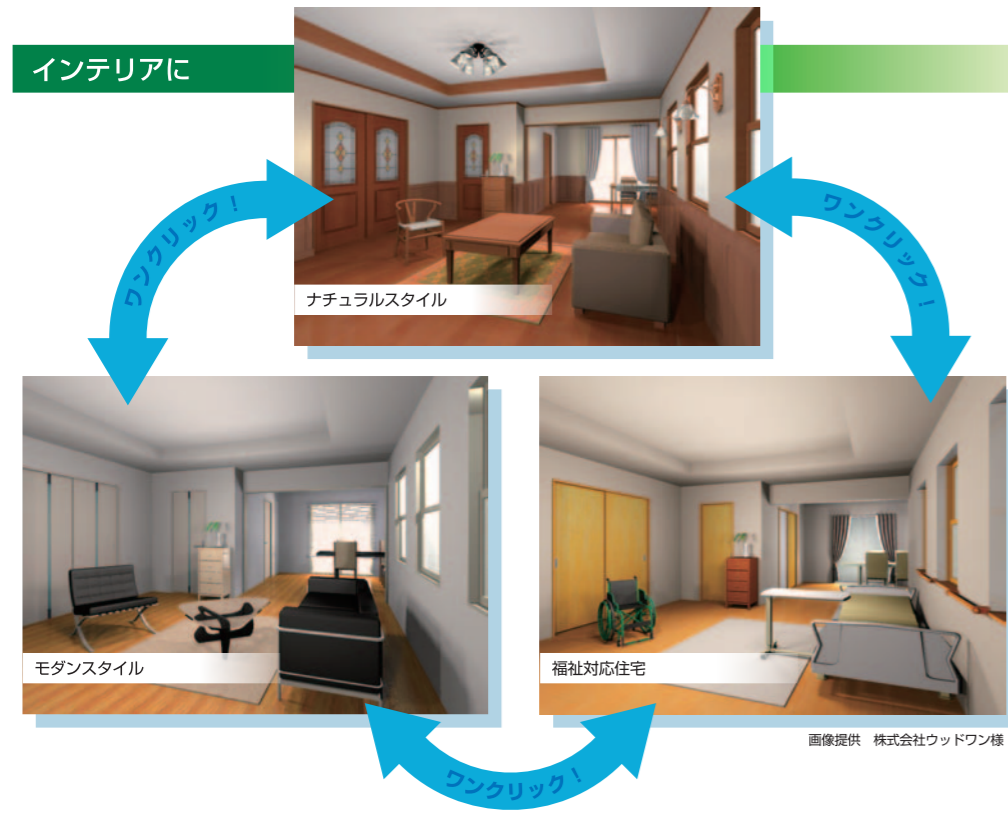
▲サインペン

2 スタイルデザイナー機能

この機能は従来の「カラーコーディネート機能」をベースとし、大幅に改良したもので、自由度の高い、より豊かな対面プレゼンを実現します。

「カラーコーディネート機能」では内外装の素材のみを一発変更できましたが、今回搭載された「スタイルデザイナー機能」は、使用している全ての素材の一発変更（カラーコーディネート機能）はもちろん、インテリア・エクステリアの入れ替え（シンボルの置き換え）、建具の変更・再配置（建具再配置機能）、屋根や壁などの変更（自動生成）などをまとめてワンクリックで実現します。

登録可能スタイル数は無制限です。



こんなときに！

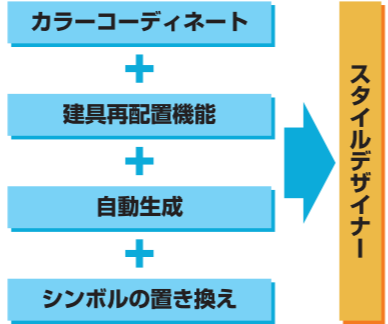
例えば、同じ間取りであったとしても、そこに住む人によりライフスタイルはさまざまです。

今使っている家具をそのまま活かした部屋づくりをしたいならばワンクリックでナチュラルスタイルへ。

家具や建具、素材などを含めたトータルコーディネートをしたいならばワンクリックでモダンスタイル。

今後の高齢を考慮してワンクリックで福祉対応住宅に変更。同じ間取りの規格プランでもこの機能を使用すれば、お客様に合わせた細やかな演出を実現し、強力なプレゼン能力を発揮します。

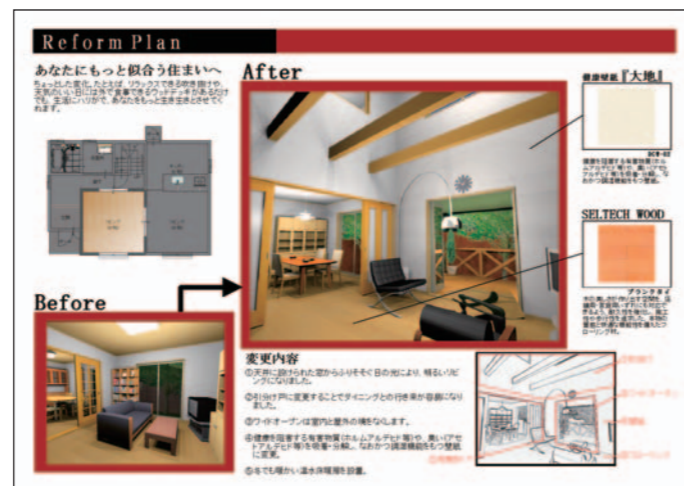
スタイルデザイナーの概念図



▲「カラーコーディネート」、「建具再配置機能」、「自動生成」、「シンボルの置き換え」の4つの機能を「スタイルデザイナー」として一括登録ができます。

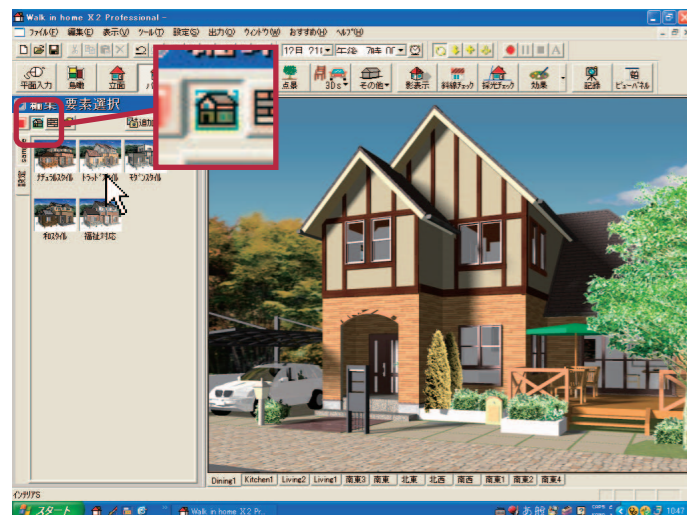
◀イスやテーブルなどの部材関係、床・壁材などの素材関係、建具のパターンが変更されています。

プレゼンボードでも



▲プレゼンボードへ出力すれば、リフォームのプレゼンボードや、お客様の部屋スタイルの検討資料などを素早く作成、紙印刷媒体として提出できます。

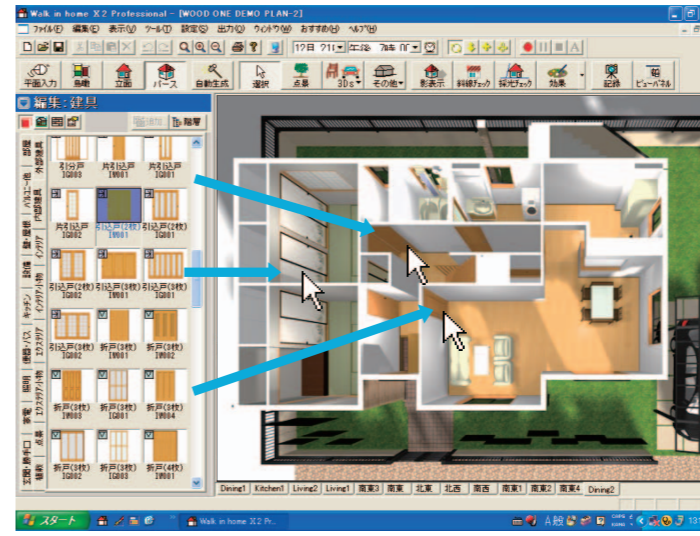
エクステリアに



▲インテリアだけでなく、エクステリアもスタイルデザインを適用できます。設定によっては「和風入母屋から輸入風に変更」というようにインテリアを含めた建物全てのイメージの変更がワンクリックで可能です。

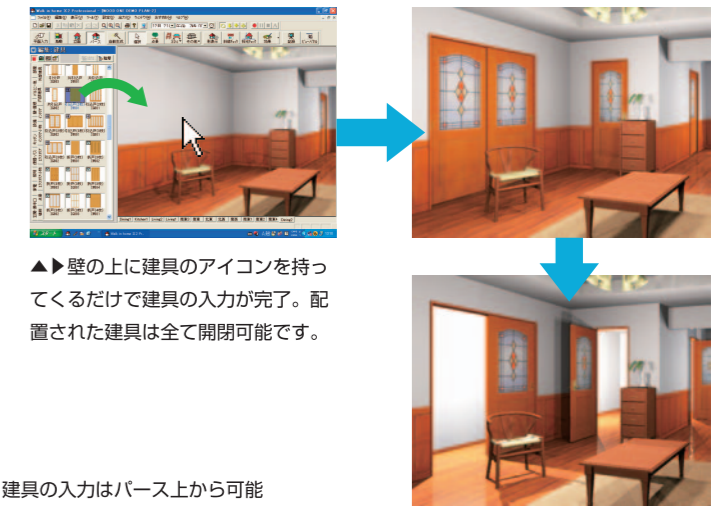
3 ダイレクト建具入力機能

通常のCADであれば、建具入力は平面図に切り替えてから行いますが、スピード入力を誇るWalk in homeは平面図に戻る必要はありません。全ての建具はパース上から入力が可能です。



こんなときに！

物件入力・修正の高速化はもちろん、対面プレゼンにおいても視覚的にわかりやすく、ダイナミックな提案が可能です。



▲壁の上に建具のアイコンを持ってくるだけで建具の入力が完了。配置された建具は全て閉閉可能です。

◀建具の入力はパース上から可能

画像提供 株式会社ウッドワン様

4 建具再配置機能

従来のAI建具は、形状と建具シンボルしか設定できませんでしたが、今回よりテクスチャを個別に登録した部材などをAI建具で使用できるようになります。

こんなときに！

カラーバリエーションごとの設定を用意し、「建具再配置」機能を実行することで、ワンクリックで建具のカラー、シンボル、形状を変更することができます。

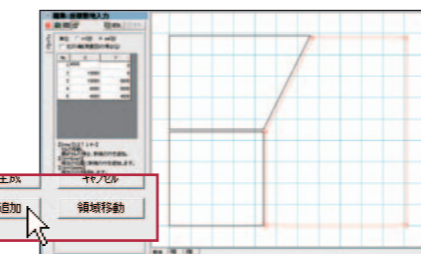


▲引き違い戸、片開き戸に対して、設定した建具配置機能を活用。

▲2つの建具は折れ戸に変更された。

6 分割座標敷地入力

敷地の元となる土地が複数ある場合、座標敷地領域を繰り返し入力し、それらの領域を合成して敷地を生成できるようになりました。



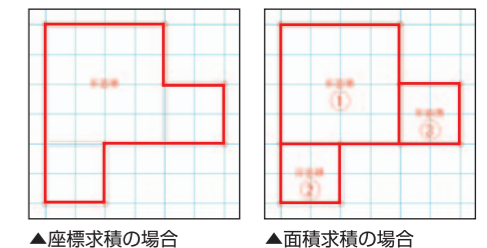
7 磁北入力

方位を磁北で入力し、設定した角度から真北を示すことができます。



8 床面積新書式

床面積表について、既存の座標求積と面積求積から選択できます。



▲座標求積の場合

▲面積求積の場合